

令和4年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
畜産部門

小規模採卵養鶏経営における女性の活躍をいかした6次産業化の実現

○氏名又は名称 有限会社 たかた採卵（代表 高田 安紀彦）

○所在地 岡山県笠岡市

○出品財 経営（採卵鶏）

○受賞理由

・地域の概要

笠岡市は、岡山県の西南端に位置し、瀬戸内の温暖な気候をいかした様々な農畜産物の生産がなされていたが、平坦地が少ないなど地形的には必ずしも恵まれているとはいえない地域であった。養鶏は戦前から盛んで、鶏卵生産額は県の約1割を占める。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

現在の経営代表者は、昭和29年に種鶏改良から始まった採卵養鶏業の3代目である。平成25年に引き継いだ経営自体は4万羽規模ではあるが、鶏卵の地産地消、6次産業化、高付加価値化・ブランド化に成功し、従業員約40名の7割を女性が占める。

・受賞者の特色

（1）消費者から評価される鶏卵の生産

木酢液・海藻・よもぎ粉末を添加した飼料を給餌して生産された鶏卵やその加工品は、様々な販路を通じて地元を中心にほぼ全量を消費者に直接販売している。

（2）高付加価値化・ブランド化の実現

一般スーパーの卵よりも高価格ではあるが、地元消費者がコンスタントに9割を購入しており、高付加価値化・ブランド化とともに地産地消に成功している。

（3）加工兼直売所「たかたのたまご」での6次産業化への取組

「たかたのたまご」では、卵販売のほかケーキなどの製造販売を行い、また併設する食堂では卵かけご飯を提供するなど、6次産業化を実現している。

（4）女性が働きやすい環境の整備、ならびに責任の自覚と労働意欲の活性化

フレックス制の導入、能力に応じた管理業務への登用など、女性に限らず働きやすい職場造りで、従業員のアイディアと責任感を引き出している。

・普及性と今後の発展方向

たかた採卵における消費者への高い販売力や、女性を含めた従業員が働きやすい職場作りは、農業経営体の企業的展開が期待される中において、今後の展開方向を示すものと考えられ、取り組みが普及することが期待される。